

# 資料1

## 浜益保養センター活性化検討会中間報告

- 開催日
  - 第1回 11月 7日
  - 第2回 12月11日
  - 第3回 1月16日
  - 第4回 2月13日
  - 第5回 3月13日
  - 第6回 4月14日

### 部会の手法

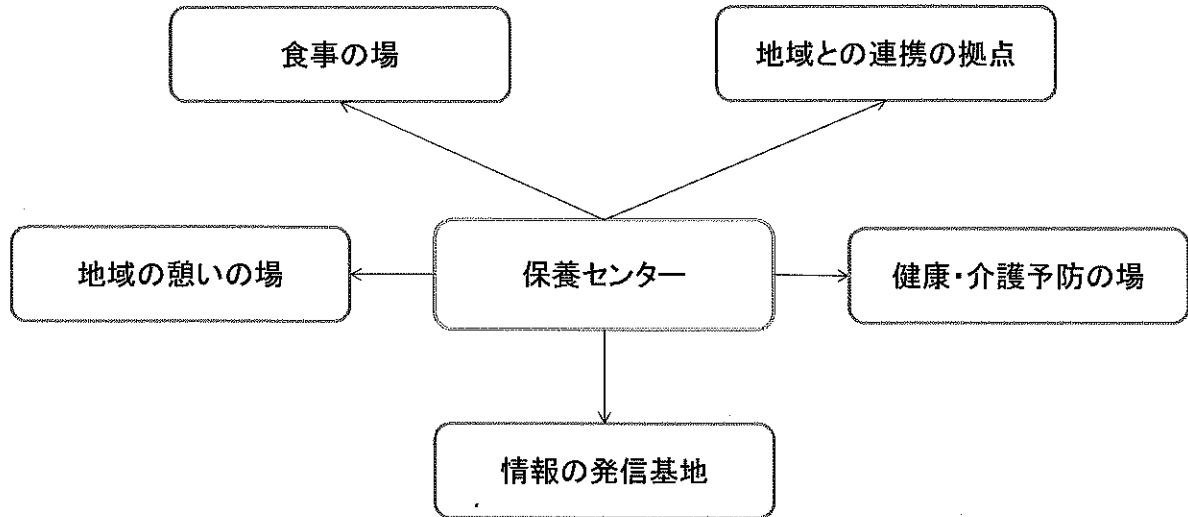
- アイデアを出し合う中ではじめは「出来る、出来ない」を考えず、浜益保養センターや地域のためになる案を出し合うことを念頭に検討を進めました。

### H25浜益5施設決算見込

施設名	H25 委託料	H25決算見込 歳入額 (H25. 11 時点)	差引	H25決算見込 歳入額 (H26. 4時点)	差引
特養あいどまり	112,596,750	84,572,000	△ 28,024,750		
GHなごみ	36,620,850	26,174,000	△ 10,446,850		
高齢者生活福祉センター	44,640,750	27,652,000	△ 16,988,750		
シルバーホーム	3,187,800	2,116,000	△ 1,071,800		
保養センター	41,545,350	18,183,000	△ 23,362,350	16,361,510	△ 25,183,840
合計	238,591,500	158,697,000	△ 79,894,500		

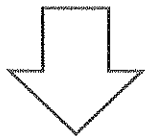
※ 保養センターの収入には、入湯税を含んでいない。

## 浜益保養センターの今後の機能



## 保養センターの付加価値に何を求める？

- 地域住民の福祉の向上
- 地域住民の健康の向上
- 地域住民の衛生の向上
- 地域経済の活性化



これまでの意見を集約すると

- **地域経済の活性化につながる付加価値**
  - 人に来てもらう。
  - 地域にお金を落とす手法
  - 地域のブランド化など
- **地域住民の憩いの場**
  - イベントの開催(マージャン大会、百人一首)
  - お風呂に入らなくても集える場 など

早いうちに取り組めるもの	2~3年程度で取組むもの	長期的
<b>3月13日開催の部会</b> <b>目標</b> <b>浜益の自慢の自然と温泉を知ってもらう。</b> <b>リピーター・新規利用者・地域と連携する。</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10,000人毎にプレゼント(温泉券、さくらんぼ他)</li> <li>○ 朝市(5/5)</li> <li>○ 情報発信 HP、ブログ発信協力隊 ↓ を毎日確認し、手書きで入館者に周知、ボードに記載するとか</li> <li>○ 温泉で飲める井水のPR</li> <li>○ 手作りマップ(○○ちゃん)</li> <li>○ 友の会の立ち上げ ・区外の浜益クラブの人たちに入ってもらう。</li> <li>○ 各種割引の設定</li> <li>○ 他市町村の広報に割引券の掲載</li> <li>○ 子どもはただにする。</li> <li>○ 看板の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ カレー(浜牛)の販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 隣接のパークゴルフ場内の木を全て桜にする。 →植樹の時に有名人</li> <li>○ 温泉の地下水の販売</li> </ul>

平成26年度実施予定	実施主体	備考
<b>4月14日開催の部会</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 浜益温泉友の会の設置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保養センターを活用した活性化案の提言と実施</li> <li>・ 保養センターの応援団</li> </ul> ※継続して協議していく。 </li> <li>○ 10,000人毎にプレゼント(温泉券、さくらんぼ他)</li> <li>○ 手作りマップの作成</li> <li>○ 手作り案内看板の作成 ※検討課題が多い。</li> <li>○ 朝市とのコラボ</li> <li>○ ホタテご飯を実施する。 ※ 浜益の特産品のホタテを活用し、昨年度も実施したが、今年度はより周知を図り提供していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 温泉友の会の主体</li> <li>→ 浜益中学校美術部</li> <li>→ 浜益中学校美術部</li> <li>→ 漁協青年部</li> <li>→ 保養センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施趣意書や実施要綱を作成し、地域内事業所を訪問する。</li> <li>※保養センター職員が観光案内ができる情報も必要</li> <li>○ 食の充実を目指す。</li> </ul>